

# ほげんだより



## ～学校保健委員会号～

令和7年12月18日 北川辺東小学校

### 12月11日（木）薬物乱用防止教室が実施されました！

6年生を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。児童保健委員会による薬物乱用防止教室に関するアンケートの結果発表後、埼玉県警察本部生活安全少年課非行防止指導班「あおぞら」の方に、薬物についてのお話をいただきました。

#### ★児童の感想



薬を一度使っただけでいろんな夢とかが終わると考えると、薬はやっぱり怖いと思いました。

私たちが普段食べているお菓子里に薬物が入っていたら…と考えるとすごく怖く感じました。ラムネのような薬物とか、クッキー、チョコ、キャンディに混ざっているとは思いませんでした。見た目が普通でも警戒しようと思いました。

薬を使って、脳の細胞が壊れてすき間ができたり、精神への攻撃をし、殺人や強盗などをしてしまうことを教えてもらいました。

薬物は、一度やってしまうと依存してやめにくくなってしまふことや、チョコやキャンディ、クッキーなどに似せていることが怖いと思った。思っていたよりも多くの害があることを知り、改めて、薬物は絶対にやってはいけないことだと感じた。

薬物は、意外と身近にあることがわかった。①お酒・タバコ②薬を間違った方法で使う③親しくしている人から誘われる④SNSなど間違った情報「さぞわれない自分」をつくりたいと思った。

薬物とは、体への影響や社会への影響があって、一回でも使うと頭の中が薬物でいっぱいになってしまうという、とっても悪い物だとわかりました。

「誘われたら断る」や「その場から離れる」などを知りました。社会に与える影響は、放火や、強盗、窃盗、殺人などがあり、薬物は危険だと思いました。

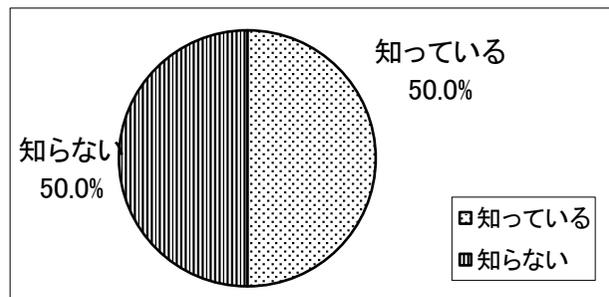
お酒、タバコは薬物乱用の入り口になることを知らなくて、あまり飲まない、吸わないようにしようと思いました。また、薬物の隠語や、大麻草の入ったお菓子によく気をつけようと思いました。

当たり前だけど、知らない人が配っていたお菓子はもらわない、あやしいサイトで自分のよく知らない物には手を出さない、を心がけて生活していこうと思いました。

### 薬物乱用防止教室に関するアンケート結果

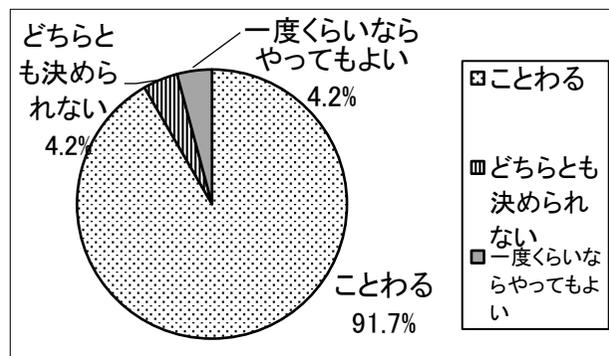
学校保健委員会で「薬物乱用防止教室」を開催するにあたり、事前アンケートを6年生の児童を対象に実施しました。当日、保健委員会の児童が結果報告をしました。一部紹介します。

#### 1 あなたは、「薬物乱用」という言葉を知っていますか



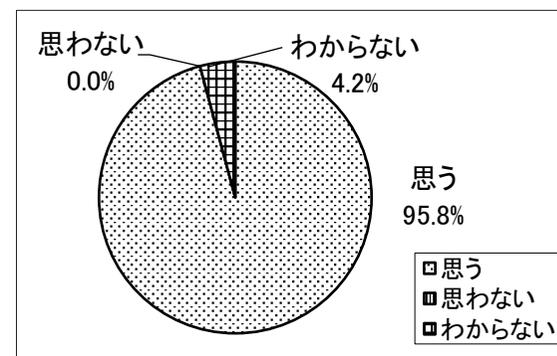
#### 2 あなたは、薬物を勧められたらどうしますか

- ①ことわる
- ②一度くらいならやってもよい
- ③どちらとも決められない



#### 3 薬物は、持っているだけで罪になると思いますか

- ①思う
- ②思わない
- ③わからない



#### ★保護者の方からのコメント

- 最近では、かわいかったり、子供や親も興味がわきそうなものばかりで怖いです。知る機会は大切ですね。
- 健康はお金じゃ買えないから、身近にある薬物に関わらないように日常的に気をつけていこう！！今はインターネットでの情報もたくさんあって、かくれた危険はたくさん。変だな、怖いと思ったらすぐに大人に相談する！
- 薬物の恐ろしさを徹底的に幼い頃から教えることは重要なことだと思います。家庭でも話し合う機会を得ました。
- 親の見えないところでいろいろ悪い誘惑があるかもしれないので、自分自身で身を守れるようになってほしいと思います。



親しい人からや、インターネット上の誘いが、薬物に手を出すきっかけになります。危険な情報を防ぎ、自分を守るために、必ずフィルタリングの設定をしてください。